

「チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON87701 系統」に係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての御意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 平成22年11月25日～平成22年12月24日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 1通
4. 御意見・情報の概要及び遺伝子組換え食品等専門調査会の回答

	御意見・情報の概要	遺伝子組換え食品等専門調査会の回答
1	<p>リアレンジメントと考えられる14 bpの挿入について、丁寧に記載すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6の1の(1)において、挿入DNAはT-DNA領域と一致、近傍配列は宿主ゲノムと一致のみされており、14 bpの挿入について、丁寧に記載すべき。 ・挿入DNAはT-DNA領域と一致とされているが、図1の挿入されたDNAにはT-DNA領域と異なる14 bpの挿入が記載されている。 ・一方、ORFの検索や安全性の確認では、挿入された14 bpも含まれていると思われるので、問題ないと考えられる。 	<p>本系統のゲノムには、評価書案13ページの図1のDNA模式図のように、導入用プラスミドPV-GMIR9のT-DNA領域以外に14 bpのDNA断片が挿入されています。</p> <p>評価書案12ページの第6の1(1)の4段落目の本系統の挿入DNAの近傍配列に関する記述において、当該DNA断片の挿入について記載をしておりましたが、ご意見に基づき、14 bpのDNA断片の挿入であることが明確になるように「DNA断片(14 bp)」と表現を修正しました。</p> <p>なお、本件の安全性評価においては、当該DNA断片を含めてORF検索を行い既知の毒性タンパク質やアレルゲン等との相同性がないこと、DNAの挿入により既知の内在性遺伝子が損なわれていないこと等を確認しており、その上で、ヒトの健康を損なうおそれがないと判断しております。</p>